

碧南市児童クラブ・児童センター・こどもプラザららくるにしばた・こどもプラザこ
こるっくしんかわ指定管理者審査委員会 会議録

日時

平成29年8月23日（水）午後2時30分から午後3時30分まで

場所

碧南市役所 2階 談話室3

出席者及び欠席者

- (1) 出席者 松井高善、伴野義雄、岩満賢次、中根潮美、鈴木怜香、
生田和重
- (2) 欠席者 河原厚司
- (3) 事務局職員 福祉こども部長 岡崎康浩、こども課長 中川英治、
課長補佐 石井香代、主査 杉浦早緒里
- (4) 指定管理者 碧南市社会福祉協議会事務局長 中山修、
課長補佐 松野盛高、担当 井上明日香

傍聴者 0人

委員会の成立 委員定数過半数以上出席により成立

委員長の任命 市長より松井副市長が委員長に任命

会議の公開 市HPで委員の氏名、選出機関・団体名、会議録に出欠席者氏名、発言
内容の要旨を公表する旨説明

議事進行 松井委員長

議事の要旨

議題

(1) 児童クラブ

ア 平成28年度事業報告及び決算について

イ 平成29年度事業計画及び予算について

指定管理者が会議資料に基づき説明。その後、審議。

<主な意見・質疑>

【A委員】新川は通所児童が増えて定員を増やしたが、棚尾も同じ状況では。

【指定管理者】定員の3割増まで通所できるので昨年度は範囲内だった。棚尾は今年度も応募が多いため増築を計画している。

【A委員】非常勤職員の給与支出が当初よりかなり減っているが、人がいないのか。

【指定管理者】昨年度は非常勤職員を募集してもなかなか集まらず、給与支出が抑えられた状態になった。児童に対する指導員数は確保できていた。

【A委員】本当はもう少し指導員が居たほうがいいのか。事故の件数が少し増えているということで、見る人が少なくて事故が多くなったということはないか。

【指定管理者】受入れ人数が多くなり、その分事故も多くなった可能性はある。少しの怪我でも病院へ運んでいる。また、事故件数は年度によって波がある。

【A委員】保護者からは何か言われるか。

【指定管理者】病院へ来て、このくらいならいいのと言われることもある。迷ったら病院へ行くようにしている。

【B委員】大浜と棚尾は人数が多い割に事故件数が少ないが。

【指定管理者】その年度の児童のメンバーにもよる。

【C委員】ブランコのチェーンが外れたのはどんな理由か。

【指定管理者】小学校の遊具で遊んでいた。点検が不十分だった可能性がある。

(2) 児童センター

ア 平成28年度事業報告及び決算について

イ 平成29年度事業計画及び予算について

指定管理者が会議資料に基づき説明。その後、審議。

<主な意見・質疑>

【A委員】前年度の職員給料が減ったのはなぜか。

【指定管理者】職員が育児休業に入ったため執行残が出た。

【A委員】今年度は給料が出ないのに、賞与が計上されているが。

【指定管理者】給与とは支給時期がずれるため半分程度計上した。

(3) こどもプラザららくるにしばた

ア 平成28年度事業報告及び決算について

イ 平成29年度事業計画及び予算について

指定管理者が会議資料に基づき説明。その後、審議。

<主な意見・質疑>

【A委員】将棋クラブは前から行っているのか。

【指定管理者】前から行っている。

【C委員】雑収入の利用料は何についてのものか。

【指定管理者】貸し館の利用料や、行事の利用者負担金がある。

(4) こどもプラザこころつくしんかわ

ア 平成28年度事業報告及び決算について

イ 平成29年度事業計画及び予算について

指定管理者が会議資料に基づき説明。その後、審議。

<主な意見・質疑>

【A委員】男性の子育て支援事業をやっているということだが。

【指定管理者】唯一男性職員が居る施設で、父親と同じ視線で会話ができる。家族参加で、メインは父親という行事になる。

【A委員】ファミリーサポートセンターの活動はどんなものか。

【事務局】依頼する人とサポートする人が会員となり、依頼会員が依頼した内容に対してサポート会員が援助する。以前はこども課でやっていたが、利用者が伸びず平成26年度からこころつくへ移った。利用しやすくなったようで、会員は30%増になった。

【D委員】市外からの利用者も多いが、市内の利用者に影響あるか。

【指定管理者】保健師の相談については、市外の利用者は市の方針が違うため受けられないこともある。

【委員長】市内の人が行事に参加できないという状態になったら、考えないといけないと思う。

【C委員】アンケートは事業毎に行っているのか。

【指定管理者】年1回と、行事によりその都度行うものもある。

<岩満准教授コメント>

全体的に問題なく行われている。職員、特に児童クラブは非常勤が多い。職員確保をどうするか、これから検討していく必要がある。